

◆◆◆ “東日本大震災” に対する宇陀市の対応 【第 3 2 報】 ◆◆◆ (所管：危機管理課)

5 月 2 5 日 宇陀市消防団は、財団法人日本消防協会などの求めに応じ、東日本大震災で消防車両など消防資機材に甚大な被害を受けた宮城県石巻市の雄勝(おかち)消防団へ、市の了承を得て消防車両の無償譲渡支援をおこなうことを決めました。車両の引き取りや必要な点検・整備、運搬等は財団法人日本消防協会がおこないます。

宇陀市消防団が支援提供する車両は、市消防団榛原第 2 分団第 4 部(旧榛原町消防団第 1 分団第 5 部)に配備されていた小型動力ポンプ付積載車で、消防団再編の車両統合により市消防団本部が引き上げて廃車(車検は本年 4 月 9 日に満了)し、市がインターネットによる公有財産売却の予定だったものです。

⇒ 車両：ニッサンホームー(昭和 5 6 年 1 0 月登録、走行距離 5, 1 0 1 k m)

⇒ 主な附属装備：B Ⅲ級シバウラ小型動力消防ポンプ・吸水管・6 5 mm 消防ホース 5 本・管槍など

宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 4 班(吉岡・宮軒組)から業務の報告がありました。主な内容は次のとおりです。

⇒ 2 4 日早朝、交代要員として避難所へ行くまでに気仙沼港へ回ったが、そこにはまだ瓦礫がそのままとなっており、道路部分が開けられているだけでテレビで見る以上に悲惨な生々しさがあること。

⇒ 海外から届く救援物資(缶詰)の中には、食文化の違いから配布をためらうようなものがあること。

⇒ 被災者の方は、震災から 2 ヶ月の時間を経たため、比較的落ち着いて生活をされていること。

⇒ 震災から 2 ヶ月を経過しても、避難所における支援物資の在庫管理の難しさなど、まだ多くの問題点がある。

※過去に記載が漏れていたものも掲載しています。また、配信後に情報が入ったものについては翌日以降の掲載になります。ご了承下さい。

◆◆◆ 本日のニュース ◆◆◆ (所管：危機管理課)

5 月 2 5 日 県防災統括室から職員派遣可能調査のあった宮城県多賀城市での建築物被害認定調査業務について、被災建築物応急危険度判定士の資格を持った職員 2 人から派遣可能と申し出があったため、被災建築物応急危険度判定業務の窓口である建設部都市計画課から県防災統括室に対して、業務の関係から 6 月後半で 2 人の派遣が可能と回答しました。

※過去に記載が漏れていたものも掲載しています。また、配信後に情報が入ったものについては翌日以降の掲載になります。ご了承下さい。

◆◆◆ 定時降下物や上水における放射性物質について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

3月23日以降 奈良県内での放射線量は、過去（平成19～21年）の奈良県の平常値（0.046～0.08マイクロシーベルト毎時）の範囲内です。
また、定時降下物及び上水にあっても放射性ヨウ素131及び放射性セシウム137ともに検出されていません。（奈良市大森町奈良県保健環境研究センターで測定）

◆◆◆ 宇陀市の義援金報告 ◆◆◆ (所管：厚生保護課)

総額20,054,526円（個人：19,105,288円、義援金箱：949,238円）

※平成23年5月20日現在

ご支援・ご協力、ありがとうございます。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の民間物資の受入状況について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

⇒ 提供申出累計：902件

⇒ 被災地との調整済み累計：195件

平成23年5月10日現在

※県の救援物資の受入れは、4月11日から一時停止しています。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の住宅提供状況について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

奈良県の東北地方太平洋沖地震にかかる住宅提供状況は下記のとおり。

- | | |
|-------------------------|------------|
| ⇒ 県営住宅：入居可能予定戸数100戸 | 内) 入居決定17戸 |
| ⇒ 市町村営住宅：64戸(21市町村) | 内) 入居決定4戸 |
| ⇒ 公的(UＲ)賃貸住宅：入居可能予定数80戸 | 内) 入居決定3戸 |
| ⇒ 公的(雇用促進)住宅：入居可能予定数68戸 | 内) 入居決定1戸 |

平成23年5月16日 16:00現在